

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

第1回 議事次第

日時 平成24年7月24日（火）午後2時～4時

場所 梅小路公園内「緑の館」1階イベント室

1 開会

2 市長挨拶

3 下京区長挨拶

4 会議の趣旨説明

5 座長挨拶

6 議事

(1) 講演：「京都の成立と下京区西部エリアの歴史的認識そして未来への展望」

講師 井筒與兵衛氏（株式会社井筒 代表取締役社長）

(2) 概説：下京区西部エリアの現況

(3) 自己紹介

(4) 意見交換（エリアの魅力と課題について）

(5) その他

7 閉会

配付資料

- 資料1 下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議委員名簿
- 資料2 座席表①及び座席表②
- 資料3 「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」設立趣意書
- 資料4 下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議設置要綱
- 資料5 井筒講師からの配布資料
- 資料6 下京区西部エリアのマップ及びエリア内の主な地域資源一覧

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議委員名簿

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	大阪ガス (株)	京滋地区副支配人 コミュニティ室長	服部 博一
	オリックス不動産 (株)	京都水族館支配人	升本 忠宏
	京都駅ビル開発 (株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公社) 京都市観光協会	事務局長	山崎 晶子
	(公財) 京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場協会	専務理事	北島 誠一
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財) 京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活) 京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク (株)	営業開発部長	鈴川 和哉
	自治連合会 (大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	自治連合会 (七条自治連合会)	会長	西村 為彦
	浄土真宗本願寺派 (西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派 (東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠
	(公財) 角屋保存会	理事長	中川 清生
	西日本旅客鉄道 (株) (J R 西日本)	近畿統括本部京都支社総務企画課 (地域共生) 担当課長	平野 剛
	(学) 龍谷大学	学長室課長	花崎 正順
	龍谷ミュージアム	事務部次長	太田 功

※ 上記参画団体は固定せず, 必要に応じて, 参画団体を加える予定

<座席表①>

司会

谷口座長

市長

下京区長

井筒氏

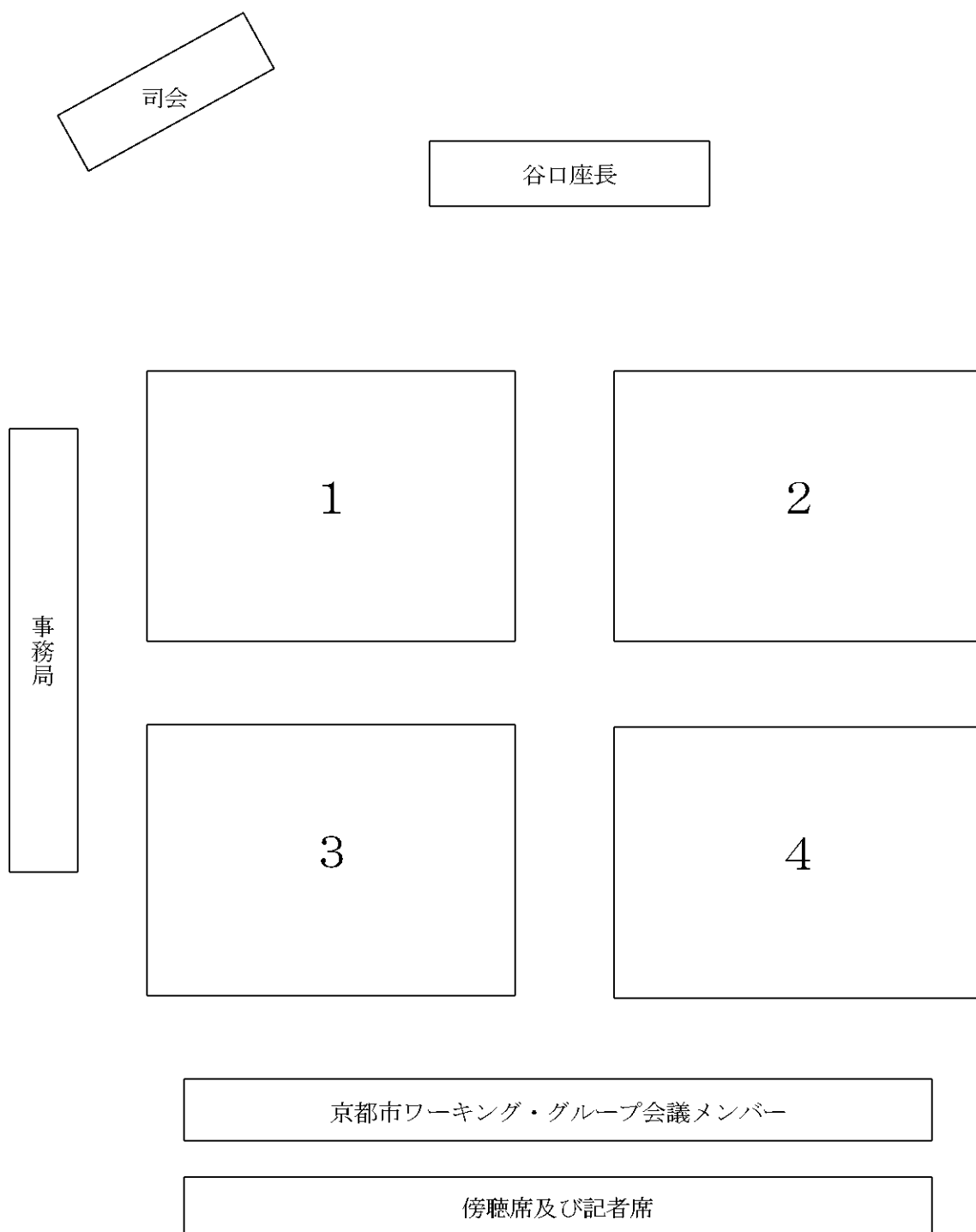
事務局

事務局	梅小路活性化委員会					龍谷ミュージアム
	大阪ガス(株)					(学)龍谷大学
	オリックス不動産(株)					西日本旅客鉄道(株) (JR 西日本)
	京都駅ビル開発(株)					(公財)角屋保存会
	京都市 (下京区長)					真宗大谷派 (東本願寺)
	京都市 (総合企画局 政策企画室長)					浄土真宗 本願寺派 (西本願寺)
	(公社)京都市 観光協会					自治連合会 (七条自治連合会)
	(公財)京都市 景観・まちづくり センター					自治連合会 (大内自治連合会)
京都市中央 卸売市場協会	京都市中央 卸売市場 第一市場	京都 商工会議所	(公財) 京都市 都市緑化協会	(特活) 京都・地球 みらい機構	京都府 旅行業 協同組合	

京都市ワーキング・グループ会議メンバー

傍聴席及び記者席

<座席表②>



「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」設立趣意書

下京区西部エリア（※）には、かねてから、梅小路公園、中央卸売市場第一市場等の公共施設のほか、産業支援施設、商店街、社寺、大学、文化・観光施設など、交流拠点にふさわしい地域資源が数多く集積してきました。そうした中、梅小路公園内に京都水族館が平成24年3月に開業し、周囲に賑わいをもたらしています。また、平成27年度には、鉄道博物館の開業も予定されています。

民間事業者によるこれらの開業の動きを契機として、京都市内最大のターミナルである京都駅に近接する当エリアが一体となって、住民の皆様と協働で人の流れと賑わいを創出し、来訪者をあたたかくお迎えすることができれば、エリア内の産業、商業、観光、文化、地域コミュニティ等の活性化にとどまらず、京都のまち全体への波及的効果も期待されます。

こうした一体的な活性化を、民間の地域資源が集積したこのエリアで目指すに当たっては、民間活力を最大限生かせるネットワークを形成し、目指すべき活性化の在り方から議論を尽くして、様々な活動を通して企業、事業者や住民の皆様に活性化の機運を広げていくことが有効と考えられます。

そこで、産・学・公・地域の連携を進め、更なる当エリアの活性化について検討するため、「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」を設置しますので、関係各位におかれましては、当会議の趣旨に御賛同いただき、積極的に御参画くださいますようお願い申し上げます。

平成24年6月
京都市長 門川大作

※ エリアは固定しませんが、概ね梅小路公園を起点に、南北は五条通からJR京都線、東西は西大路通から烏丸通に囲まれた地域を想定して、検討を進めてまいります。

(設置)

第1条 「はばたけ未来へ！京プラン実施計画」に基づき、下京区西部エリア内の企業、事業者、大学、地域住民等が地域のポテンシャルや活性化のアイディアについて十分に検討するとともに、これらの取組を通じて地域活性化の機運の醸成を図り、地域の将来像を構想する最初のステップとするため、民間活力を生かして当該エリアの活性化を目指す「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) エリアの活性化に向けた協議、調査及び研究を行うこと。
- (2) エリア活性化の機運醸成に向けた事業を実施すること。
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 検討会議は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、平成25年3月31日までとする。ただし、継続して審議する必要がある場合は、その任期を延長することができる。

(座長及び副座長)

第4条 検討会議に座長を置く。

2 座長は、委員のうちから市長が指名する。

3 座長は、検討会議を代表し、会務を総理する。

4 座長は、必要があると認めるときは、副座長を指名し、副座長は座長を補佐する。

(会議)

第5条 検討会議は、座長が必要に応じて招集する。

2 座長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

(部会)

第6条 検討会議は、第2条に掲げる事項を行うため必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

(事務局)

第7条 検討会議の事務は、総合企画局政策企画室において行う。

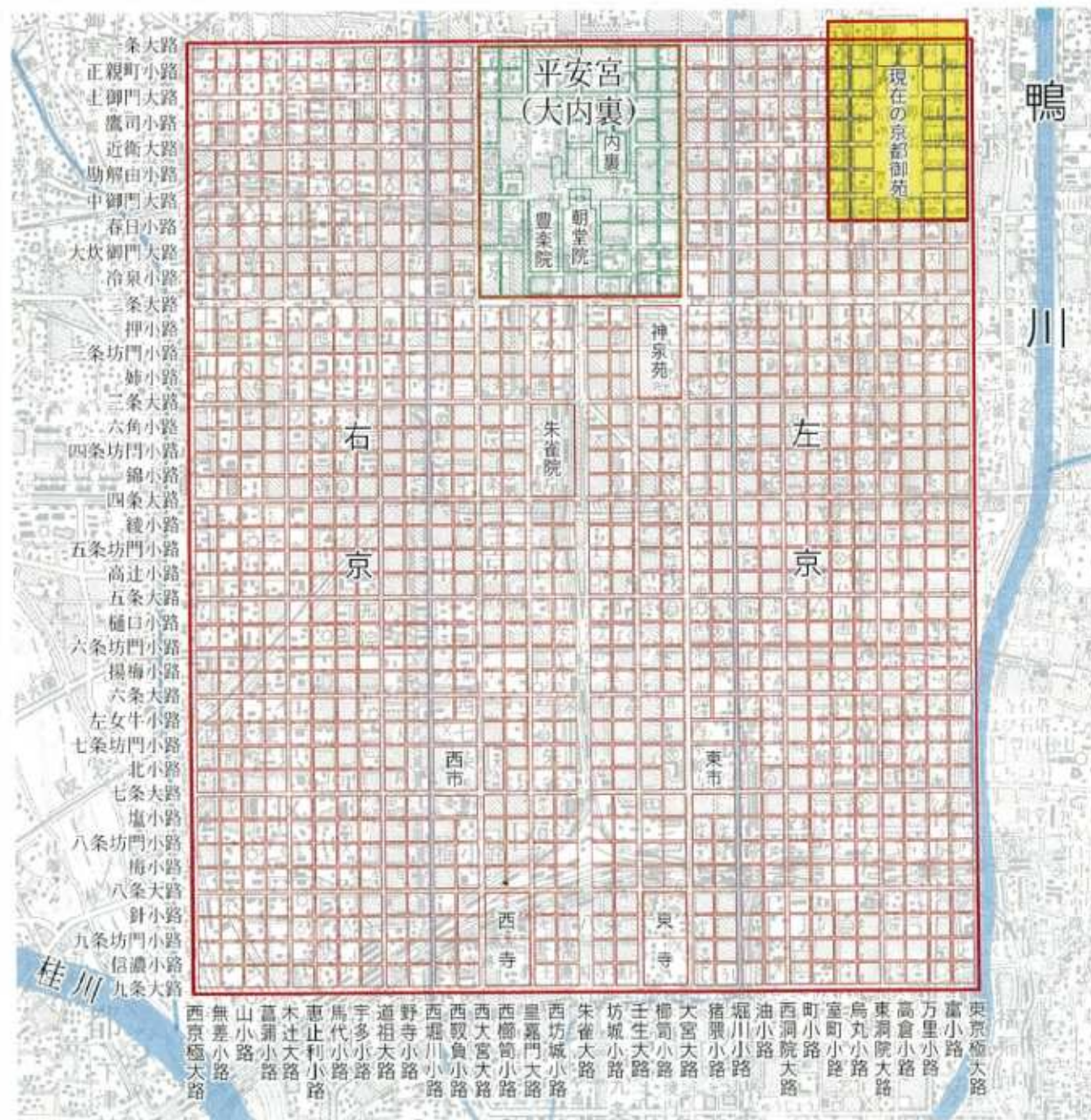
(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、総合企画局長が定める。

附 則

この要綱は、平成24年6月16日から実施する。

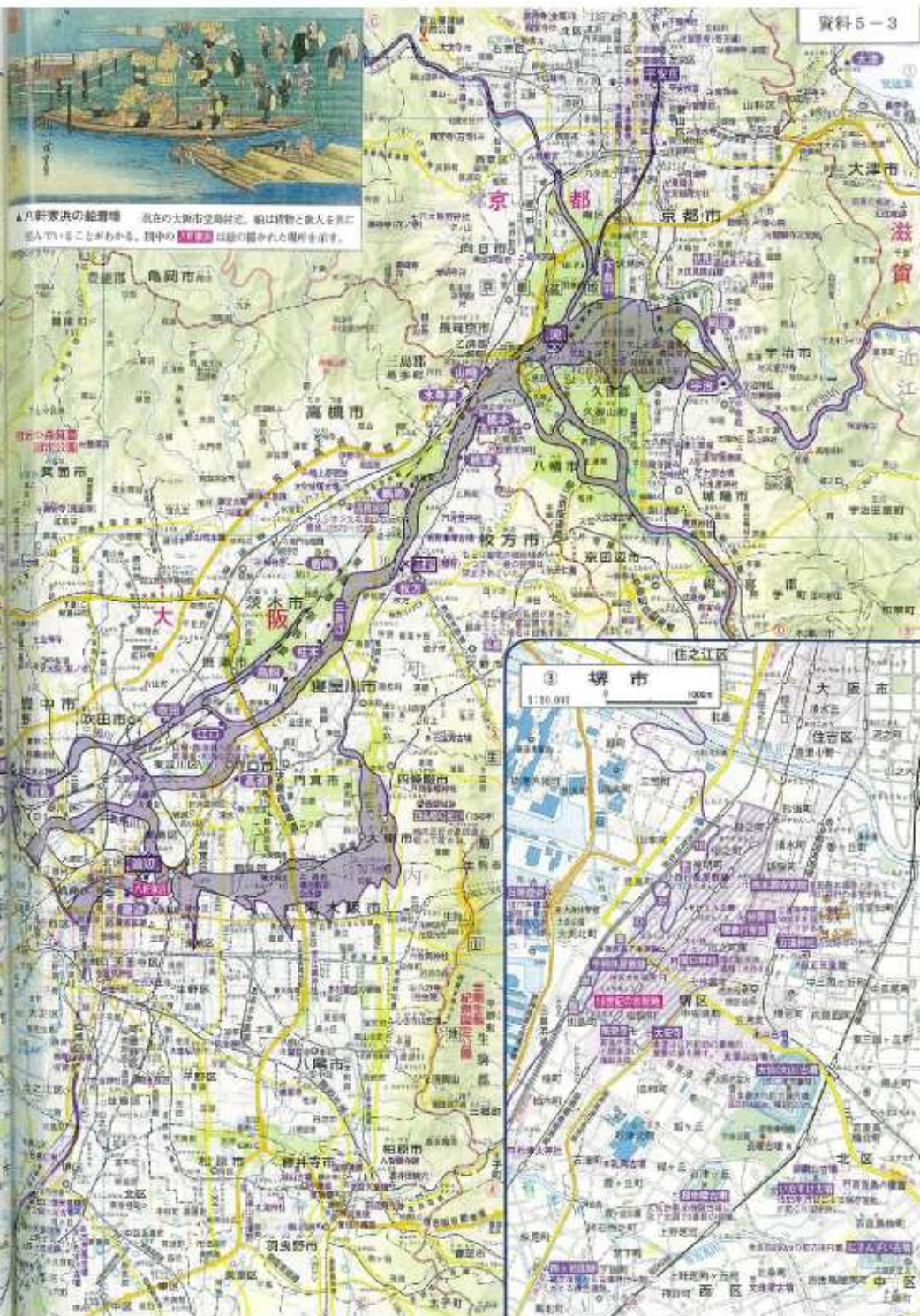






淀川の水運

この地味は、西国・瀬戸内海沿岸と、畿内の内陸部を結ぶ水運の要衝であった。郡が奈良から京都に移されたのも、物資の搬入に足川を利用することが目的の一つであった。水路上の港である「津」は、物資の輸出・中継・保管地ともなる。鎌倉後期以降、寺社の運営・修繕費にあてたため、船積では通行料をとるを目的で関所をもつたのが「河上五ヶ関」で、兵庫では一年間に2400艘が出入りしていたという。



—人や物が行きかた交通の要衝—

都府での有名な物質製造
(中世)
—— 鹽上船運ルート
—— 水上船運ルート

 各地から運ばれて
おこなう産物

 おもな交通の要路

 荷車をもっていた
農村

速申時 歴史的重要な時

早川船 近江河川のおもな
支那

にぎの川 近江八景

上流 - 下流の川



京へ通じる“海”の道

京都の東に位置する琵琶湖の周辺は、東日本へと通じる東海道、栗山道（中山道）、北陸道（北国街道、西近江路）など主要な街道が集中するとともに、琵琶湖自体も水運が発達し、交通の要衝であった。日本海に臨む敦賀や小浜へ海路輸送された北陸地方の荘園年貢などは、琵琶湖北岸の塩津・海津・今津の港へと送られ、そこから船で南岸の大津や坂本に送られて、さらに陸路で京都に運ばれていた。同じく東岸の新湊（現在の京都市）からは、栗山道を通ってきた物資が船積みされた。このような流通経路を背景に、戦国期以降、織田信長の安土城を基に、この地を重視した名だたる大名の関与が著かれた。



② 王城鎮護の要、比叡山

延徳寺は、都が京都に移された時、虎門の守護として建立された。高僧・名僧も多く輩出し、また門下(慈覺大師)、法然、親王、親鸞、龍光、日蓮などもこの寺で学んだ。簡の教本は、保国寺の祖伝、門前町として発達した。



④ 宇治市

1:150,000 0 500



10

京都市

伏見区



10

WILEY

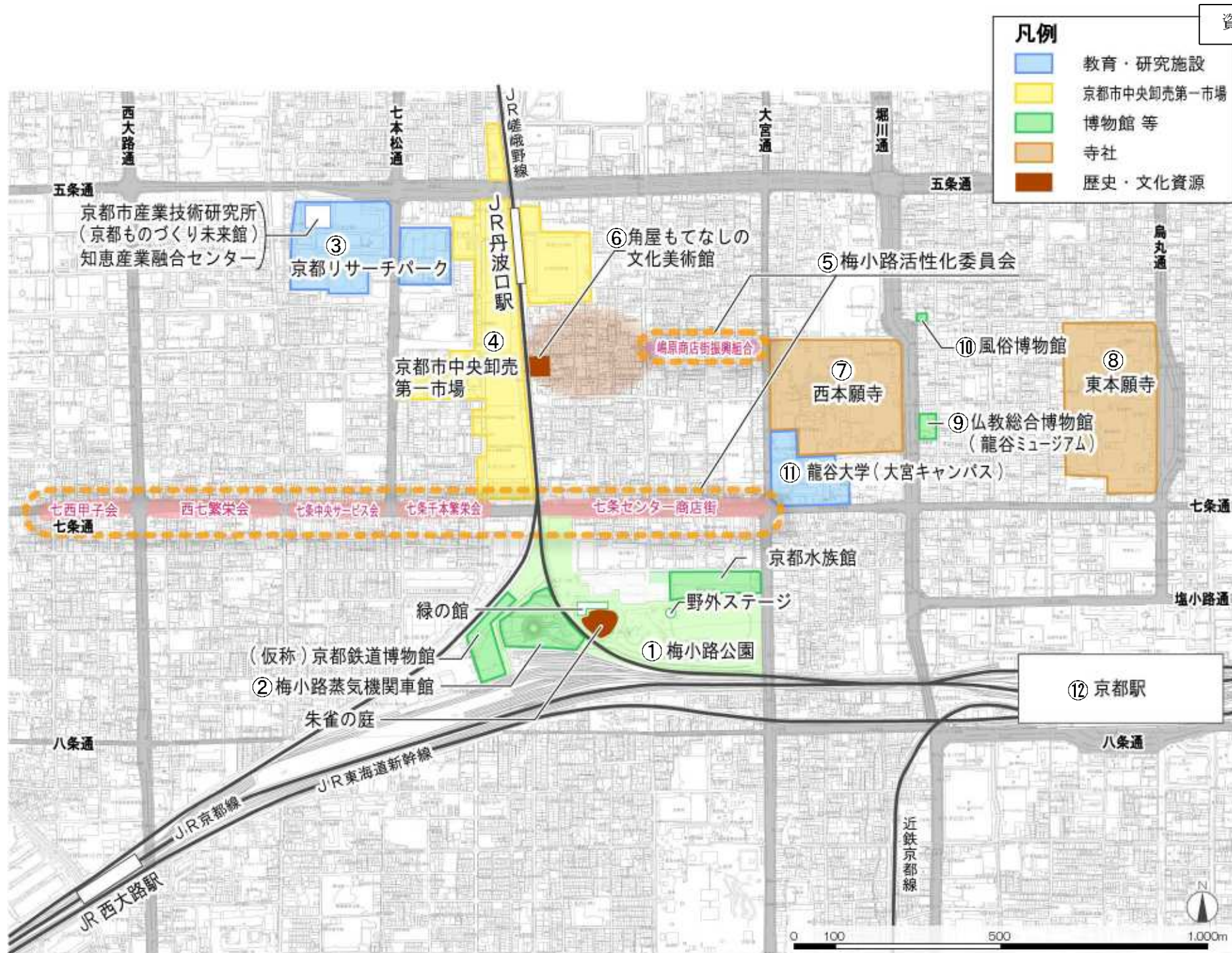
1992—1993 年度 9-11 月

大御山町

京都・奈良間の交通の
上には、奈良の

「周氏物語」丁治十帖全

町時代から続く宇治茶が



＜エリア内の主な地域資源＞

	エリア内の主な地域資源	主な出来事
①	梅小路公園	- 平成 7 年に開園。 - 平成 22 年 3 月野外ステージ完成、平成 23 年 8 月カフェレストランを新装オープン。 - 平成 24 年 3 月にオリックス不動産㈱が京都水族館をオープン。初年度来場者数目標 200 万人、4 月上旬に来場者数 30 万人を超える。 (仮称) 京都鉄道博物館が平成 27 年度開業予定。
②	梅小路蒸気機関車館	昭和 47 年に開館。平成 22 年 1 月に入館者数 700 万人を突破。
③	京都リサーチパーク	- 全国初の民間運営によるリサーチパークとして平成元年にオープン。 - 平成 22 年 10 月に五条通沿いに、京都市産業技術研究所、オフィスと商業施設の複合施設である 9 号館がオープン。 - 京都市産業技術研究所は、進展が見込める 7 分野（ナノ技術、バイオ技術、京都地域性活用分野、デザイン、環境適合、生活科学分野、コンピュータ応用）の新たな研究テーマを重点的に取り組む。 - 平成 22 年 11 月に伝統産業と先端産業の融合で「新たな京都ブランド」の創出に取り組む知恵産業融合センターが京都市産業技術研究所内に創設。
④	京都市中央卸売第一市場	- 昭和 2 年に日本で最初の中央卸売市場として開設。 - 平成 22 年 10 月から毎月第一土曜に繁盛市を開催。 ＜主催：京都市、京都市中央卸売市場関連事業者連合会＞ - 同年同月に愛称「京朱雀市場」決定。 - 平成 23 年 4 月から繁盛市と一体的に実施する市民感謝デー「京朱雀市場 食彩市」（毎月第二土曜）を開催。 ＜主催：京都市、京都市中央卸売市場協会＞ - 平成 24 年 8 月 5 日に「京・朱雀すし市場」オープン。 - 平成 24 年度中に、調理実習室や資料・展示室を整備した「京の食文化普及啓発施設（仮称）」を開設予定。

⑤	梅小路活性化委員会	- 平成 23 年 6 月に発足。嶋原商店街振興組合，七条センター商店街，七条千本繁栄会，七条中央サービス会，西七繁栄会，七西甲子会の 6 商店街を中心に構成。 「夢小路・梅小路フェスタ」等のイベントを開催。
⑥	角屋もてなしの文化美術館	平成 10 年に開館。揚屋建築の唯一の遺構，国の重要文化財。展示だけでなく文化講座なども開催。
⑦	西本願寺	平成 23 年 4 月～平成 24 年 1 月，「親鸞聖人 750 回大遠忌法要」を行い，期間中に，記念行事として門前町において，宗門の法要行事に縁のない人も参画できる「ご縁まちフェスタ」を開催。
⑧	東本願寺	- 平成 23 年に「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」を開催。 - 平成 24 年 1 月に阿弥陀堂御修復着工。 - 平成 25 年 1 月に御影堂門御修復着工予定。
⑨	仏教総合博物館（龍谷ミュージアム）	- 平成 23 年 4 月に開館。 - 日本初の本格的な仏教の総合博物館。
⑩	風俗博物館	「源氏物語」の世界を実物の 1/4 で再現した模型を展示。 - 平成 24 年 4 月にリニューアルオープン。
⑪	龍谷大学（大宮キャンパス）	- 龍谷大学発祥の地。本館をはじめ，国の重要文化財となる建物が現存し，映画やドラマの撮影に協力している。 - 地元団体等とコラボレーションして地域活性化に資する活動を京都市が認定する「学まちコラボ事業」に，平成 24 年度は 3 団体が認定。
⑫	京都駅（京都駅ビル）	- 平成 9 年に京都駅ビル開業。 - 平成 24 年 1 月から平成 25 年 3 月まで，開業 15 周年記念事業を開催。